

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和3年11月19日

事業所名: 放課後等デイサービスみつぼし サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・療育を行う分には十分確保しているが児童の身長が伸びたことや毎日の利用児童のが増えたことで狭く感じる	・はい 13名 ・どちらともいえない 3名 ・いいえ 0名 ・わからない 1名	部屋のスペースを広げることではできないため、整理整頓をして利用できる空間をつくる
	2 職員の適切な配置	・適切な人員配置は出来ている ・人数に応じて職員を配置しているが欠席や急遽の利用に対して増減はある	・はい 13名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 3名	利用児童に合わせて配置し個々に合わせた対応をしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・1階フロアは、バリアフリーになっていて訓練室、食堂、トイレ、洗面所とわかるようにイラストプレートを貼っている	・はい 13名 ・どちらともいえない 2名 ・いいえ 0名 ・わからない 2名	玄関口以外はバリアフリーで動線としてわかりやすくなっている。各部屋には、イラストプレートで何をするとこかわかりやすくしている
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・子どもたちにも掃除を手伝ってもらい常に自分の空間を保てるようにしている	・はい 15名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 1名	施設で使った部屋を積極的に子どもたちが掃除を行っている。支援によって掃除ができない場合は職員が行っている
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・担当をすることで児童の振り返りや目標に向き合えることで職員にも新たな課題が見え積極的に参画している		職場環境として意見を出しやすい環境を作っているためミーティングなどで積極的な参画をしている
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・外部評価の活用はしていないが地域の民生委員や学校関係や他事業所の他からの視点で業務改善を図る		第三者評価委員の活用はないが、地域民生委員や関係機関の訪問受入を実施し情報提供してもらいながら検討している
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修はエリア的に遠く、研修も中止が続いているため外部研修はなし、事業所内研修を毎月行っている		地域的に研修先が遠方のためと、新型コロナで研修中止が多く中々執り行えないため、外部講師の派遣を検討している
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・最初にたてた計画をもとにアセスメントを行い分析をし保護者や利用児童に合わせた個別支援計画を作成している		アセスメントを行ったうえで子どもと保護者の課題を分析し新たな課題にも対応できるよう客観的に分析している
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況に合わせてできることを伸ばし、できないところは工夫を加え継続して行える計画を立てている	・はい 16名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	子どもの状態を把握し、個々に合う活動計画にしている
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・利用児童一人ひとりに沿った必要な支援内容になっている		個々により何個かの項目を設定し児童及び保護者にわかる内容を記載を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・児童が混乱しないように職員が計画に沿ってどの職員でも同じ内容で支援が行えるようにしている	・はい 16名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	個々に合う活動計画にしているため職員も同じ支援ができるようにしている
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・個々の特性に応じたプログラムをミーティングなどで話し合い全体で立案している		毎月のミーティングにおいて月間の活動を考え日々当日の活動も職員間で考えている
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は時間が短い中で課題等に必要訓練を行っている ・休日、長期休暇においては個別と集団訓練及び課題に取り組んでいる	・はい 15名 ・どちらともいえない 2名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	平日は時間が短い児童もいるため課題等に集中できる環境をつくる。休日や長期休暇などでは平日に中々取り組めない支援をする
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・学校休業日及び長期休業日に関して基本の内容に沿うが、活動では外部へ社会見学などを取り入れている		昨年度と被らないように新たな活動を取り入れるように工夫している
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援開始前にミーティングを行い当日の流れ担当児童の支援方法などを確認している		支援開始前に職員間で前日反省と当日の役割の申し送りを継続している
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気づいた点などの情報の共有化	・当日出勤している常勤職員と日々の支援終了時に情報を共有している。非常勤職員及び休暇職員には、後日改めて情報を共有している		全職員に当日での振り返りや気づいた点の情報の共有はできないが、その日行われた支援内容の情報は後日必ず情報を伝えているため継続して行う
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の支援の記録は、徹底して行っている。気になる点等あった場合、申し送り時に検証し改善に努めている		日々の支援の記録は徹底している。支援の検証や改善策は、意見を出し合って継続している
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・利用児童の状態により6か月おきに見直しを実施著しく変化がある場合は早いスパンで見直しを行う		定期的にモニタリングを行い計画の見直しも職員で案を出し合っているため継続していく
1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・児童の状況においてサービス会議が行われる場合参画は行っている		相談支援事業者との連携において児童発達支援管理責任者は担当児童の情報を把握し会議を行うが、場合として担当児童スタッフも会議に参画する	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・対象事業所ではない		・対象事業所ではない
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・対象事業所ではない		・対象事業所ではない
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・支援事業所・特別支援学校からの支援内容等の共有があるが、その他の関係機関との十分な情報共有はない		関係機関との情報共有を行うため、事業所周知を行っていく
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・障害福祉サービス事業所と情報を共有し対象児童の支援が円滑に行えるよう情報は提供している		移行支援先での事業所関連には、保護者の同意を得て必要な情報を提供していく
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・支援センター等との連携は取れていて研修受講に参加予定でしたが研修等には参加できていない		児童発達支援センター等の専門機関との連携は継続して行い、研修受講は積極的に参加する
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・認定こども園や児童クラブ等との活動をすることはないが、地域児童と公園での活動を共にすることがある	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい 5名</li> <li>・どちらともいえない 4名</li> <li>・いいえ 2名</li> <li>・わからない 6名</li> </ul>	緊急事態宣言が解除されて関連事業所等との連携を行いたいですが、予断を許さない状況に変わりないためしばらくの間は事業所同士での活動を自粛しています
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・新型コロナの影響を考え地域住民の招待はしていない	・評価項目なし	当面の間、事業所行事での地域住民の招待は企画しておりません

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明を行っている	・はい 15名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 1名	モニタリング等において支援の内容についてわかりやすく説明を行っている。利用者負担については契約時に説明しているが、必要とあらば都度説明を行う
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・新規、見直し等支援計画に変更があった場合に説明を行っている	・はい 16名 記載なし 1名 ・どちらともいえない 0名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	モニタリングの時に計画書をもとに支援内容の説明を分かりやすく行っているため継続して行う
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・相談を受けた時に、保護者支援を行っているが機会としては少ない。	・はい 8名 ・どちらともいえない 3名 ・いいえ 3名 ・わからない 3名	支援の実施はしているが、ペアレントトレーニングについて保護者会を開いて支援の説明等を行う
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・課題について連絡帳に記入や、送迎時に保護者に説明をしている。 ・内容も職員間で情報を共有している。	・はい 16名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	計画書をもとに子どもの状況の課題に保護者と共通理解はできているため継続して行う
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けたときは、早急に保護者との話し合いの場を設け助言を行っている	・はい 14名 ・どちらともいえない 3名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	窓口は常に開けているため、時間が許される限りは相談の実施や助言は適切に行う
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・事業所として保護者参加の活動は年1回行っている。	・はい 6名 無回答 2名 ・どちらともいえない 2名 ・いいえ 3名 ・わからない 4名	父母会がないため、今後保護者会を年に何度か開催をし保護者が集まれる時間を設ける
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情担当者を配置し、児童及び保護者には契約書に記載していることを周知している。解決策など見つからない場合第三者委員の開催体制も整っている	・はい 10名 無回答 2名 ・どちらともいえない 2名 ・いいえ 0名 ・わからない 3名	保護者からの声を聴くことで、子どもや事業所に対する悩みや相談を傾聴することで課題が見えるため迅速に対応できる
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・個々に応じて伝わりやすいよう視覚支援を行ったり理解していただけるような工夫をしている	・はい 14名 無回答 2名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 0名	聞き取りが苦手な児童には、視覚で伝えることで情報が入りやすくなり、保護者へは送迎時及びミニメモにて伝えている
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・事業所新聞を毎月配布し活動内容の情報を児童や保護者に発信している ・行事予定も毎月の予定表に記載しています。	・はい 13名 無回答 2名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 1名	新聞や予定表の配布は継続し、通信による情報発信を検討している
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・全職員が意識して対応している。 ・書類関係は、2階事務所に保管しているが関係者以外事務所入室禁止にしている。	・はい 13名 無回答 2名 ・どちらともいえない 1名 ・いいえ 0名 ・わからない 1名	事業所内では、職員同士での共有はしますが外部には持ち出さない話さないを徹底し注意喚起を行う
1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・簡易的のマニュアルは、玄関に掲示し職員には研修などで徹底している ・すべてのマニュアルの見直しを行っているため策定を立案中である	・はい 9名 無回答 2名 ・どちらともいえない 4名 ・いいえ 1名 ・わからない 4名	県からの通達の簡易マニュアルは引き続き玄関掲示物として掲示していく。 只今マニュアルを作成中ですが保護者や職員にも周知してもらうため簡易的なものを配布していく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・災害訓練は(火災・津波・地震など)定期的に行っている	・はい 12名 ・どちらともいえない 2名 ・いいえ 1名 ・わからない 4名 ・無回答 2名	年に何度か災害訓練は行って事業所の新聞に掲載している。保護者への報告が不十分なため送迎時等で訓練内容を伝える
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修を行い適切なサービスが行えるよう最低でも年1度は検証している		虐待防止担当者を決め職員間でも研修を行い意識を高める
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束を行う対象の児童はいない ・今後対象の児童が利用する場合は、事前に保護者の同意を得てサービス計画に記載する		契約時にやむを得ず身体拘束を行う場合においては、拘束する理由と保護者同意書をもとに行うことの説明をする
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・医師の指示書はないがアセスメント時に食物アレルギーがある児童には配慮し提供している		強い食物アレルギーを持った児童はないが、アセスメント時にアレルギーを持つ児童の保護者から聞き、当日利用での食事及びおやつにも対応している
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットなど事故等に繋がらないように日々のミーティングで事例を検証している		小さな気づき(ヒヤリハット)をミニメモに記入し大きな事故につながらないように共有している